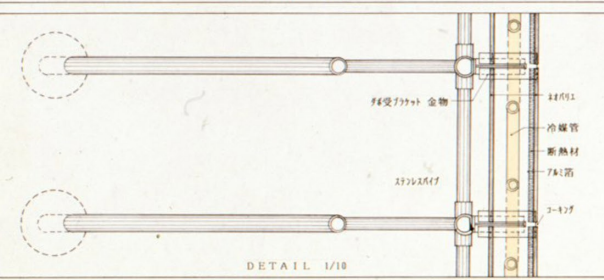


DETAIL 1/10



DETAIL 1/10



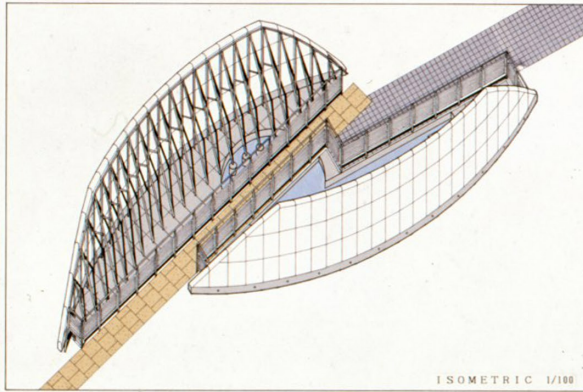
人工氷山

二重に積み上げた白色ネオパリエの空間に冷媒管を通し、断熱されていない手前のネオパリエ壁から輻射冷気を出せば、人工の氷山ができる。これは、ネオパリエの耐低温性、耐水性、耐久性、熱容量の低さ、仕上面の反射率の良さ（外部熱の遮断）・・・等を利用したもので、何よりも、見た目の白いガラス質が、氷山の美を思い起こさせる。

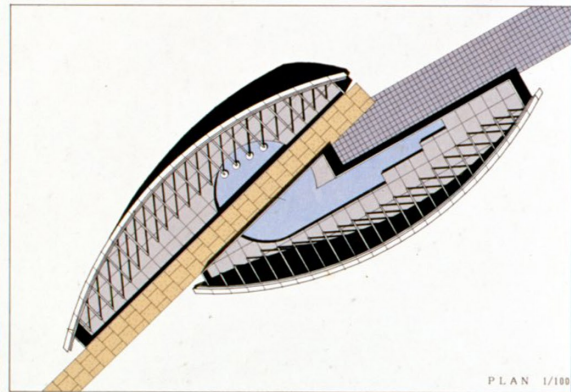
この冷気を輻射する白い壁は、動物園にいる夏のペンギン達への贈物である。もちろん、白黒でもいいが、氷山を前にして最も似合うのは黒尾扇のペンギン達である。

人工氷山から、涼い放熱の冷気を浴び、同時に突き刺すような太陽光線も享受できるとなれば、そこは彼らにとって天国となる。それを見学する人間達も、輻射冷気を受け、ヒンヤリと南極気分。

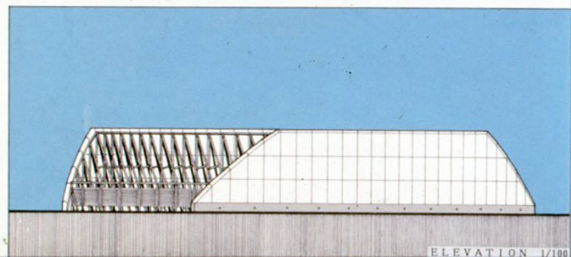
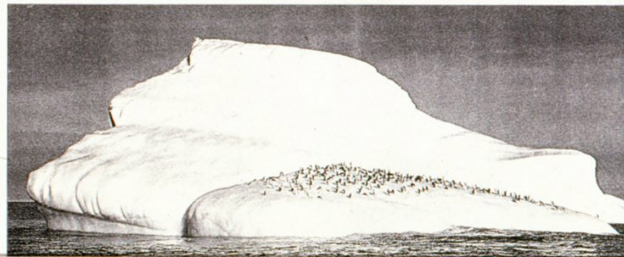
さらに、ネオパリエの二重壁を支えるステンレスパイプに乾燥冷気を送り込み、それを循環させれば効果は倍加する。こちらは、ネオパリエよりも比熱が低く、ペンギンが触れて「冷」をとることができるのだ。



ISOMETRIC 1/100



PLAN 1/100



ELEVATION 1/100